

平成22年度第11回県教育委員会会議

教育長報告

1 報告事項

平成22年度全国高等学校総合体育大会について

2 事項の説明

(1) 期 間:平成22年7月28日(水)～8月20日(金)

(2) 場 所:沖縄県、鹿児島県

(3) 参加競技:29競技

①参加者数 :1001名(選手803名、監督137名、コーチ12名、マネージャー24名、引率者25名)

②参加学校数 :51校

(4) 主な競技結果(ベスト8以上)

【8月13日(金)現在】

【団体の部】

No	順位	競技種目	学校名	性別
1	1位	なぎなた	知念高校	女子
2		ウエイトリフティング	南部工業高校	男子
3	2位	相撲	中部農林高校	男子
4	3位	レスリング	浦添工業高校	男子
5		なぎなた	沖縄尚学高校	女子
6	5位	ハンドボール	興南高校	男子
7		柔道	沖縄尚学高校	女子
8	6位	カヌー	沖縄水産高校	男子
9	8位	自転車(ロード)	北中城高校	男子

【個人の部】

No	順位	競技種目	学校名	氏名	学年
1	1位	カヌー 男子カナディアンシングル500m	沖縄水産高校	當銘孝仁	3
2		なぎなた 演技の部	知念高校	米須陽香 城間さやか	3
3		ウエイトリフティング53kg級	南部工業高校	玉寄公博	3
4		ウエイトリフティング77kg級	南部工業高校	久米大輝	3
5		空手道 男子形	興南高校	上村拓也	3
6	2位	ウエイトリフティング53kg級	糸満高校	山城聖也	3
7		ウエイトリフティング56kg級	南部工業高校	平仲浩也	2
8		ウエイトリフティング62kg級	南部工業高校	平良勇祐	2
9		なぎなた 演技の部	知念高校	小谷夏季 玉那覇梨奈	2 2
10		なぎなた 個人試合	知念高校	城間さやか	3
11		レスリング 96kg級	浦添工業高校	志喜屋正明	2
12		カヌー 男子カナディアンペア200m	沖縄水産高校	當銘孝仁 城海輝	3 2
13		カヌー 男子カナディアンペア500m	沖縄水産高校	當銘孝仁 大城海輝	3 2
14	3位	陸上 女子 やり投げ	那覇西高校	島袋優美	2
15		カヌー 男子カナディアンシングル500m	沖縄水産高校	大城海輝	2
16		カヌー 男子カナディアンシングル200m	沖縄水産高校	當銘孝仁	3
17		レスリング 84kg級	浦添工業高校	与那覇竜太	1
18		柔道 女子 48kg級	沖縄尚学高校	當間まみ	2
19		柔道 女子 52kg級	沖縄尚学高校	玉木聖子	3
20		柔道 女子 78kg級	沖縄尚学高校	赤嶺麻佑	2
21		ウエイトリフティング105kg超級	豊見城南高校	大城優太	3
22	4位	陸上 男子 円盤投げ	那覇西高校	翁長裕太	3
23		カヌー 男子カナディアンシングル200m	沖縄水産高校	大城海輝	2
24		ウエイトリフティング85kg級	豊見城高校	古田順一	3
25		ウエイトリフティング105kg級	豊見城高校	豊里昇太	3

26	5 位	なぎなた 演技の部	知念 高 校	嶺井 春 菜	3	
27		なぎなた 演技の部	首里 高 校	比嘉 宏 奈	3	
28		なぎなた 個人試合	首里 高 校	石原 舞 子	3	
29		ボクシング ミドル級	宮古 総合 実業 高 校	ジュリアン・シ	2	
30		陸上 女子 砲丸投げ	那覇 西 高 校	知念 莉 子	2	
31		レスリング 5 5 kg 級	浦添 工業 高 校	金城 希 龍	3	
32		レスリング 6 6 kg 級	浦添 工業 高 校	宮城 辰 司	3	
33		レスリング 1 2 0 kg 級	浦添 工業 高 校	宮國 雄 太	1	
34		柔道 男子 6 0 kg 級	沖縄 尚学 高 校	上原 貴 哉	1	
35		空手道 男子 形	美来 工科 高 校	平良 海 舟	2	
36		空手道 女子 形	コザ 高 校	スピーナ 瑛 利 香	2	
37		柔道 女子 4 8 kg 級	沖縄 尚学 高 校	饒平 名 知 子	3	
38		柔道 女子 5 7 kg 級	沖縄 尚学 高 校	屋比 久 咲	2	
39		柔道 女子 6 3 kg 級	沖縄 尚学 高 校	宮國 のぞみ	3	
40		7 位	陸上 女子 円盤投げ	那覇 西 高 校	浦崎 楓 怜	3
41		8 位	自転車 個人ロードレース	北中 城 高 校	城田 大 和	1
42			自転車 スクラッチ	北中 城 高 校	城田 大 和	1
43			陸上 男子 8 種競技	那覇 西 高 校	比嘉 雄 作	3
44			ボート 男子 シングルスカル	辺土 名 高 校	菅原 佑 亮	3
45	ボート 女子 舵手付きクォドルプル		コザ 高 校	備瀬、又吉、新里、中川、加納	2,3年	

(5) 講評

美ら島沖繩総体2010に向け、平成16年度から選手強化をはじめ、水泳競技を除く競技で、昨年度の約1.5倍の54種目で強化選手や団体が入賞する結果であった。特に、なぎなた競技の演技の連覇を皮切りに、ウエイトリフティング5階級で優勝、相撲団体が中部農林高校が2位に入るなど、団体競技で9競技、個人競技で45の競技種目で入賞を成し遂げた。

また、登山競技において、沖縄県代表の沖縄尚学高校が初めて参加することにより、47都道府県が初めて揃ったの大会となった、今後とも継続した参加をはかるとともに、上位入賞を狙えるよう努めていきたい。

単独県開催最後となる今回の高校総体では、限られた予算の中で、各市町村実行委員会にもご協力をいただいたおかげで、大会も成功裏に終えることができた。特に生徒一人一役運動として数多くの生徒が参画し、総合開会式では、序章の空手道をはじめ、南国沖繩の文化を盛り込んだ創作演技や世界一位を誇る西原高校と4校合同によるマーチングなどの公開演技は参観者に大きな感動を与えるとともに、沖縄の高校生の底力が発揮できた。また、各競技会場においても生徒が裏方として朝早くから長時間にわたり、テント設営や受付等に携わった。さらに、「おもてなし」の心で島ぞーりに大会ロゴを彫り込んだり、ピン玉ストラップを作成し、大会に参加した選手や関係者に配布するなど、「思い出深い大会であった」と好評であった。

☆ 昨年度との比較

	【団体競技】				【個人競技】			
	平成21年度		平成22年度		平成21年度		平成22年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女
優 勝	1		1	1	3	3	4	1
2 位	1		1		6	1	6	2
3 位			1	1	4		4	4
4 位		1				1	4	
5 位	2		1	1	2	3	6	8
6 位	1		1		2			
7 位					1	1		1
8 位			1		3		4	1
小 計	5	1	6	3	21	9	28	17
合 計	6		9		30		45	